

商売繁盛 手伝いまっせ

大阪・船場の大手衣料品問屋「大西」の上司執行役員だった川出圭司さん(52)が「商売復興計画」仕事を考え直す「ヒント36計」(商業界・



1500円)を出版した。営業、店舗開発、海外調達、通信販売、中国での事業など数多くの仕事にかかわり40歳代前半から役員になったが、「このままでは社畜になる」

船場の元ビジネスマン「36ヒント」を本に

と30年以上勤めた会社を2月に退職。コンサルタント業を始める前に、2カ月半で書き上げた。孫子の兵法になぞらえて36のポイントを挙げているが、成功の秘訣を説いた内容ではない。「商売は楽しいことのお手伝いと困りごとの解決」部下は最大の協力者。その気になったらみんな逸材「だれが言ったかではなく何を言ったかが問題」といった項目ごとに問いかけを発し、商売のそもそもや本質を考え直すきっかけ作りを狙っている。